

平成20年度 大雪・富良野ルート活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題
5. 平成19年度活動報告への助言に対する状況報告

1. ルート運営活動計画に関する地域の報告

(2) 地域活動に関する報告(大雪・富良野ルート)

ルート名称:大雪・富良野ルート			報告者: 代表 山崎 博幸					報告年月:2009/3/31	
種類	方針	方策	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括
景観づくり	大雪山・十勝岳連峰を美しく見せ、親しむ	北海道らしい雄大な景観を美しく見せる	1	ゴミゼロキャンペーン	大雪・富良野ルート	西神楽:4月27日(日)10:00～12:00 旭川空港周辺:4月26日(土)10:00～12:00上富良野町:5月11日(日)10:00～12:00	約200人	A - 1	ルート景観をより良く見せるために、活動を継続して実施するとともに、来訪者へのPRを充実させる。 また、ルート全体での景観保全やPRを行うためのルール等を検討し、広域で展開する。
		大雪山・十勝岳連峰への眺望性を高めるために、阻害要因の除去や道路施設の整備を行う	1	ゴミゼロキャンペーン	大雪・富良野ルート	西神楽:4月27日(日)10:00～12:00 旭川空港周辺:4月26日(土)10:00～12:00上富良野町:5月11日(日)10:00～12:00	約200人	A - 1	
			2	JRと国道敷地の除草活動	NPO法人グラウンドワーク西神楽	平成20年6月20日・6月28日9:00～15:00	約20人	A - 5	
		ビューポイントを整備して大雪山・十勝岳連峰の眺めを楽しめるようにする	2	JRと国道敷地の除草活動	NPO法人グラウンドワーク西神楽	平成20年6月20日・6月28日9:00～15:00	約20人	A - 5	
		大雪山・十勝岳連峰への眺望性を確保するためのルールの整備を進める		検討・ルールづくり	研究等は活動を実施する上で、	旭川景観倶楽部を中心に随時	検討を実施。		
	波状丘陵地の田園景観を保全する	田園景観保全のための仕組みを観光と関連を持たせながら検討する	3	各種オーナー性の実施	赤麦の会、深山峠観光開発振興会、かみふらの十勝岳観光協会	通年			農業景観を保全する「オーナー性」については、継続して実施できている。オーナー性の成功事例は、他地域で波及できるように、情報共有する。波状丘陵地の田園景観の保全に向けて、地域農業との連携等も視野に入れ、取り組みを推進する。
		田園景観を保全するためのルールなどの検討を行う		検討・ルールづくり	研究等は活動を実施する上で、	旭川景観倶楽部を中心に随時	検討を実施。		
		田園景観を整えるためにさまざまな農業施設を景観にも配慮されるようにする							
	花人街道としての景観を整える	地域の原風景としての景観を保全するための研究を行う		検討・ルールづくり	研究等は活動を実施する上で、	旭川景観倶楽部を中心に随時	検討を実施。		花の植栽活動やゴミゼロキャンペーンは、継続して実施し花人街道としての景観保全の推進を行う。また、個別で実施している花の植栽は、ルートで情報共有し、全体としての花の演出・ルートづくりを検討する。 ゴミゼロキャンペーンは、より多くの地域・人が関わる活動として取り組みを推進する。
		沿道の関係地域全体で花による沿道景観の演出を行う	4	花の植栽活動	東川町花倶楽部、深山峠観光開発振興会、上富良野町商工会	5月～6月	約200人(総数)		
		花人街道として田園部、市街地を含めた景観形成の方針を検討する		検討・ルールづくり	研究等は活動を実施する上で、	旭川景観倶楽部を中心に随時	検討を実施。		
		沿道の景観阻害要因に対しての修景計画の策定を行う		検討・ルールづくり	研究等は活動を実施する上で、	旭川景観倶楽部を中心に随時	検討を実施。		
		森林景観を保全するための活動計画の策定を行う		検討・ルールづくり	研究等は活動を実施する上で、	旭川景観倶楽部を中心に随時	検討を実施。		
		ルート全体の情報共有化と連携の強化を図る	5	情報拠点の運営	西神楽夢民村、循環型社会立案サポートセンター、かみふらの十勝岳観光協会、富良野エコミュージアム	5月～11月(一部通年)		A - 6	
			6	中間法人事務局機能の強化に向けた検討	(有中)シーニックバイウェイ大雪・富良野ルート	通年	中間法人理事8名		

地域づくり	活力ある地域づくり	地域の情報発信力を強化し、情報媒体の多彩化を図る	★7	バリアフリーマップの検討	(有中)シーニックバイウェイ大雪・富良野ルート	通年	H21、5月頃発行予定		それぞれの地域での成功例や取り組み事例をルート全体で情報共有し、広域での展開や他地域への波及など、ルート全体としての活性化を目指す。ルート情報共有の核となる、ルート法人事務局強化を目指すとともに、ルート法人を中心として、ルート活動の実施や参加団体への支援を行い、ルート活動の推進を目指す。
		地域住民参加への活動を強化する	1	ゴミゼロキャンペーン	大雪・富良野ルート	西神楽:4月27日(日)10:00～12:00 旭川空港周辺:4月26日(土)10:00～12:00上富良野町:5月11日(日)10:00～12:00	約200人	A - 1	
			5	情報拠点での地域情報発信	西神楽夢民村、循環型社会立案サポートセンター、かみふらの十勝岳観光協会、富良野エコミュージアム	5月～11月(一部通年)		A - 6	
			8	みち・沿道景観フォトコンテストの開催	フォトコンテスト実行委員会	8月～11月募集	約250点	A - 2	
			9	ウィンターサーカスの開催	ウィンターサーカス実行委員会	2月7日(土)、2日(日) 17:00～20:00	約2000人(全会場合計)	A - 3	
			★10	冬期集住・二地域居住事業の実施	NPO法人グラウンドワーク西神楽	通年	冬期集住モニター10名	A - 4	
			★11	2度目のハネムーンをテーマとした冬のツアーの開催	(有中)シーニックバイウェイ大雪・富良野ルート	1月22日～1月24日	2組4名		
	コリドーとしての連携や参加意識の醸成	シーニックの活動に対する地域連携意識を醸成する	1	ゴミゼロキャンペーン	大雪・富良野ルート	西神楽:4月27日(日)10:00～12:00 旭川空港周辺:4月26日(土)10:00～12:00上富良野町:5月11日(日)10:00～12:00	約200人	A - 1	地域によってシーニックバイウェイやルートの認知度に差がある。シーニックバイウェイやルートの認知度が低い地域に関しては、地域住民や関係機関が参加しやすい活動を検討し、具体との活動を通して認知度を向上させる。さらに、シーニックに賛同する団体や企業を増やし、連携した広域活動を多方面に展開する。
			2	JRと国道敷地の除草活動	NPO法人グラウンドワーク西神楽	平成20年6月20日・6月28日 9:00～15:00	約20人	A - 5	
			9	ウィンターサーカスの開催	ウィンターサーカス実行委員会	2月7日(土)、2日(日) 17:00～20:00	約2000人(全会場合計)	A - 3	
		各種キャンペーンの立案によって参加意識を高める	1	ゴミゼロキャンペーン	大雪・富良野ルート	西神楽:4月27日(日)10:00～12:00 旭川空港周辺:4月26日(土)10:00～12:00上富良野町:5月11日(日)10:00～12:00	約200人	A - 1	
			9	ウィンターサーカスの開催	ウィンターサーカス実行委員会	2月7日(土)、2日(日) 17:00～20:00	約2000人(全会場合計)	A - 3	
			★12	上富良野JRヘルシーウォーキング	ヘルシーウォーキング実行委員会	9月28日	約600人		
	地域づくり		5	西神楽と上富良野の情報拠点にて、地域農産物を販売	西神楽夢民村、かみふらの十勝岳観光協会	5月～11月		A - 6	

農業・観光・商業の連携と協働による地域づくり	安全な地域農産物の魅力を情報として発信する	13	農産物を使ったイベントを開催	西神楽夢民村、深山峠観光開発振興会、上富良野町商工会	9月・10月	西神楽：約200人、深山峠：約700人、上富良野：約500人		農業・観光・商業の連携と協働が具体的に形になりつつある取り組みについては、継続的に取り組みを実施し、具体的な成功事例として成果を残すとともに、ルート全体で情報共有する。
	農業体験観光を通して地域の魅力を紹介する							
	地域の様々な分野の業界と資源を活用し総合力を高める	1	ゴミゼロキャンペーン	大雪・富良野ルート	西神楽：4月27日（日）10:00～12:00 旭川空港周辺：4月26日（土）10:00～12:00 上富良野町：5月11日（日）10:00～12:00	約200人	A - 1	
		★10	冬期集住・二地域居住事業の実施	NPO法人グラウンドワーク西神楽	通年	冬期集住モニター10名	A - 4	
		14	上富良野産の農産畜産物をつかった加工品・商品の検討	237花倶楽部	通年			
	多面的で魅力のあるルートの開発と紹介を行う	★11	2度目のハネムーンをテーマとした冬のツアーの開催	（有中）シーニックバイウェイ大雪・富良野ルート	1月22日～1月24日	2組4名		
		★10	冬期集住・二地域居住事業の実施	NPO法人グラウンドワーク西神楽	通年	冬期集住モニター10名	A - 4	
地域の自然・文化・歴史を共通の資産として保全活動を推進	大雪山・十勝岳連峰の原生林や貴重な野生生物遺産の保全・保護と監視を進める	15	旭岳の管理	大雪山自然学校（NPO法人ねおす）	5月～11月			旭岳を活動エリアとして、大雪山自然学校（NPO法人ねおす）が積極的な取り組みを展開している。大雪山自然学校（NPO法人ねおす）のノウハウや活動を、ルートで情報共有し、広域での展開や連携を目指す。
	自然の保全・保護に関する情報発信や啓蒙活動を行うとともに学術調査研究に協力する							
	歴史的建造物等の地域の歴史文化遺産、北海道遺産などの利活用を図る							
	地域の自然・文化・歴史を活用した教育プログラムを推進する	16	子供向けの自然教室を実施	大雪山自然学校（NPO法人ねおす）	通年			
		17	ウィンターサーカスと連携し、雪の授業を開催	（有中）シーニックバイウェイ大雪・富良野ルート	西神楽：1月26日、上富良野：2月8日	約35名（総勢）		
ユニバーサルデザインの推進	シーニック活動団体、行政などへのユニバーサルデザインの提案を行う							ユニバーサルデザインの理念や概念について活動団体や地域住民への普及を推進させる。また、具体的な取り組みを実施し、成功例を積み上げることで、ルート全体への波及についても検討する。
	地域におけるユニバーサルデザインの啓蒙活動を行う	★7	バリアフリーマップの検討	（有中）シーニックバイウェイ大雪・富良野ルート	通年	H21、5月頃発行予定		
		5	ユニバーサルデザインを取り入れた情報拠点の設営・運営	西神楽夢民村、循環型社会立案サポートセンター	5月～11月		A - 6	
	田園型リラクゼーション観光を充実させる	★11	2度目のハネムーンをテーマとした冬のツアーの開催	（有中）シーニックバイウェイ大雪・富良野ルート	1月22日～1月24日	2組4名		

観光振興	田園型リラクゼーション観光の充実	もてなしのシーニックバイウェイを充実させる	5	情報拠点の運営	西神楽夢民村、循環型社会立案サポートセンター、かみふらの十勝岳観光協会、富良野エコミュージアム	5月～11月 (一部通年)		A - 6	平成20年度は観光旅行者が減少する冬のツアーを試験的に実施した。今後は、冬期ツアーの継続開催も視野にし、大雪・富良野ルートらしい田園型リラクゼーション観光の具体的な取り組みを推進し、成功事例を積み上げる。
			★11	2度目のハネムーンをテーマとした冬のツアーの開催	(有中)シーニックバイウェイ大雪・富良野ルート	1月22日～1月24日	2組4名		
	農業と連携した観光のしくみづくり	来訪者と農業生産者をつなぐしくみを検討する	5	西神楽と上富良野の情報拠点にて、地域農産物を販売	西神楽夢民村、かみふらの十勝岳観光協会	5月～11月		A - 6	情報拠点を核に、地域農産物のブランド化を目指した取り組みを推進する。地域の農業団体も、シーニックバイウェイの活動に、多く関わってもらえるような活動を検討し、具体的な取り組みを展開する。
		地域の農産物の新たな流通ルートを検討する	5	西神楽と上富良野の情報拠点にて、地域農産物を販売	西神楽夢民村、かみふらの十勝岳観光協会	5月～11月		A - 6	
		ルートのコミュニティビジネスを興すための検討を進める	5	情報拠点の運営	西神楽夢民村、循環型社会立案サポートセンター、かみふらの十勝岳観光協会、富良野エコミュージアム	5月～11月 (一部通年)		A - 6	
			★10	冬期集住・二地域居住事業の実施	NPO法人グラウンドワーク西神楽	通年	冬期集住モニター10名	A - 4	
			3	各種オーナー性の実施	赤麦の会、深山峠観光開発振興会、かみふらの十勝岳観光協会	通年			
			9	ウィンターサーカスの開催	ウィンターサーカス実行委員会	2月7日(土)、2日(日) 17:00～20:00	約2000人(全会場合計)	A - 3	
	シーニック・ランドオペレーション機能の充実	シーニックバイウェイの情報網と発信機能を充実させる	5	情報拠点の運営	西神楽夢民村、循環型社会立案サポートセンター、かみふらの十勝岳観光協会、富良野エコミュージアム	5月～11月 (一部通年)		A - 6	情報拠点が中心となり情報発信を行っているが、今後は様々なメディアを活用した情報発信も検討する。 統一的な情報発信を行うために、情報の整備やルール化も検討する。
		シーニック情報中枢機能を充実させる	6	中間法人事務局機能の強化に向けた検討	(有中)シーニックバイウェイ大雪・富良野ルート	通年	中間法人理事8名		

※表中“★”はH20新規活動

ゴミゼロキャンペーンの開催

【概要】平成17年度「集中活動月間」の活動としてはじまった「ゴミゼロキャンペーン」は、沿道の清掃活動を広域で連携して実施する活動。平成20年度で4回目の開催。毎年、4月下旬から5月30日までをキャンペーン期間として、旭川や上富良野で関係行政とも連携し、清掃活動を実施している。平成20年度の活動では、旭川土木現業所とも連携し、旭川空港線の清掃を行った。ゴミゼロキャンペーンには、毎年約200人以上が関わっている。

【日時】西神楽：4月27日（日）10:00～12:00 旭川空港周辺：4月26日（土）10:00～12:00
上富良野町：5月11日（日）10:00～12:00

【場所】西神楽・旭川空港周辺・上富良野町

【主催】シーニックバイウェイ北海道 大雪・富良野ルート

【参加人数】西神楽（約50人）、旭川空港周辺（約20人）、上富良野会場（約100人）



第5回 みち・沿道景観フォトコンテストの開催

【概 要】 ルート内のキレイな景観写真の収集とシーニックバイウェイ北海道 大雪・富良野ルートの認知度向上を目的に、みち・沿道景観フォトコンテストをルートで開催。今年度の開催で第5回目となり継続した取り組みとなっているが、今後は、継続して実施する為の活動資金の捻出が課題となっている。

【日 時】 募集期間 9月～11月

【主 催】 みち・沿道景観フォトコンテスト実行委員会

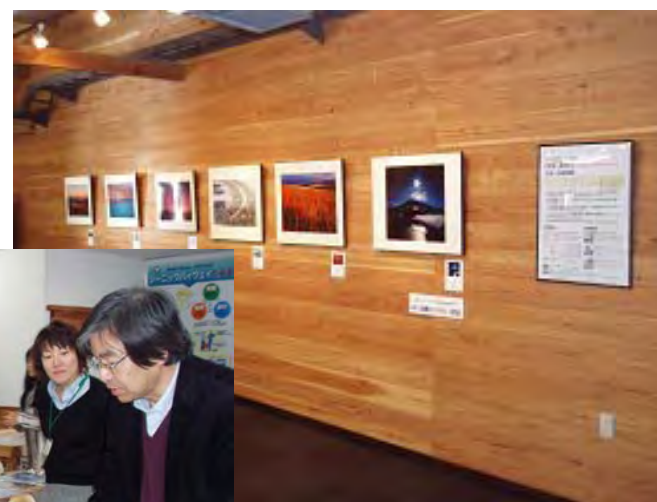
【協 力】 富士フイルムイメージング株式会社、富士フイルムイメージテック株式会社

【参加人数】 募集作品数 約250点



第5回 グランプリ作品

審査会の様子



作品展の様子

ウィンターサーカス2009 in 大雪・富良野ルート

【概要】 第4回目となる雪のアートプロジェクト「ウィンターサーカス」を開催。今回は、美瑛町との連携し、ルート内4会場・高速道路会場3会場で開催。各会場では温かい飲食の提供を行い、旭川発着の無料バスツアーや雪の授業(聖和小学校・上富良野町)の開催も連携して実施した。

【日時】 イベント：平成21年2月7日(土)、8日(日) 17:00~20:00

雪の授業：2月26日(月)-聖和小学校、3月7日(土)-上富良野町

【場所】 西神楽・美瑛町・深山峠・見晴台公園・砂川SA・岩見沢SA・輪厚PA

【主催】 シーニックバイウェイ北海道 大雪・富良野ルート ウィンターサーカス実行委員会

【共催】 東日本高速道路株式会社(NEXCO東日本)、(社)北海道開発技術センター

【後援】 大雪・富良野ルート運営行政連絡会議、(有)シーニックバイウェイ支援センター、旭川市、美瑛町、上富良野町

【参加人数】 西神楽会場(約200人)、美瑛町(約900人)、深山峠(約200人)、上富良野会場(約600人)

バスツアー参加者(61人/2日間) ※美瑛会場は周辺でも冬のイベント開催

※ウィンターサーカスは企業からの協賛と北海道地域政策補助金にて実施

西神楽会場の作品「WHITE CUBE」



深山峠会場の作品「にんじんの塔」



見晴台公園会場の作品「花ドレミ」



【概要】西神楽地域にて、NPO法人グラウンドワーク西神楽が空き家を活用した地域高齢者の冬期集住と都市住民の二地域居住（田舎暮らし）を連携した取り組みを実施。今年度は、地域高齢者と都市住民の意向調査及び冬期集住の試行、地域でのタウンミーティングを実施。コミュニティビジネスとしての展開を視野に、事業を継続して実施予定。

【日時】平成20年8月～3月、平成22年までの継続事業予定

【場所】旭川市西神楽

【主催】NPO法人グラウンドワーク西神楽

【協力】聖和老人会・有限責任中間法人シーニックバイウェイ大雪・富良野ルート

【参加人数】冬期集住モニター（10名）、

※国土交通省の「『新たな公』によるコミュニティ創生支援モデル事業」として採択



JRと国道敷地の除草活動

【概 要】 景観の保全と農作物の害虫の発生を予防することを目的に、JR敷地と国道敷地の除草活動を実施。地元NPOや市民委員会が中心となり、旭川開発建設部やJR北海道と調整を行い、約2キロ区間の除草活動を実施した。地域からの要望として「年数回の除草や除草作業の効率をあげる為には、除草敷地に草刈り機が入れるように整備することが必要」との意見があがっている。また、活動資金の捻出についても課題となっている。

【日 時】 平成20年6月20日・6月28日 9:00～15:00

【場 所】 西神楽

【主 催】 NPO法人グラウンドワーク西神楽

【協 力】 瑞穂市民委員会・聖和市民委員会

【参加人数】 約20名（65歳以上の高齢者）



【概要】 ルートの情報発信（地元おすすめ情報など）を目的として、西神楽・美瑛・上富良野・富良野の全4箇所にシーニック情報拠点を開設。各地では、大雪・富良野ルート内のパンフレット等の配布のほか、地元の農産物のPRなどそれぞれ特徴的なサービスやビジネスを展開。西神楽の情報拠点では、地元農産物（夢民村）の直売を行っており、平成19年は約220万円を売り上げ、平成20年は地元住民にも支えられ約420万円を売り上げることが出来た。情報拠点のコミュニティビジネスとしても、可能性が見えてきている。

【日時】 平成20年5月～11月

【場所】 西神楽・美瑛・上富良野・富良野

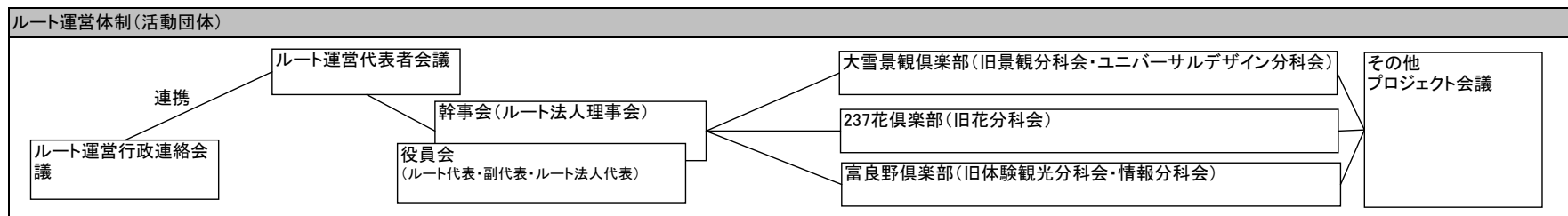
【主催】 西神楽：夢民村、美瑛：循環型社会立案サポートセンター、上富良野：かみふらの十勝岳観光協会、富良野：富良野エコミュージアム



3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

ルート名称:大雪・富良野ルート	報告者:代表 代表 山崎 博幸	報告年月:2009/3/31
-----------------	-----------------	----------------

活動団体
NPO法人グラウンドワーク西神楽／NPO法人ネイティブクラーク／NPO法人循環型社会立案サポートセンター／深山峠観光開発振興会／上富良野町商工会商業部会／NPO法人グリーンステージ／(社)かみふらの十勝岳観光協会／(社)フラワーランドかみふらの／かなやま湖の森2212／富良野エコミュージアム／(有)インターネット富良野／北のロマンスバイウェイ／東川花倶楽部／(社)旭川観光協会／(株)ラジオふらの／旭川都市田園会議／後藤純男美術館／大雪自然学校(NPO法人ねおす)／西神楽 夢民村 全19団体



	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
	ルート運営代表者会議	● 4/24											● 3/18	全体会議については、年2回しか開催出来なかった。その為、役員や幹事以外の団体の情報共有が不足していた。
	役員会										● 1/14			
	運営委員会	● 4/18						● 10/15						
	大雪景観倶楽部			● 6/6						● 12/25			● 3/10	
	237花倶楽部	● 4/16				● ● 8/7 8/27				● 12/22				
	富良野倶楽部													
	その他 ◆フォトコン審査会 ●ウィンターサーカス 会議							● 10/24	● 11/15	◆ ● 12/8 12/18	● 1/23			

ルート名称:大雪・富良野ルート	報告者:旭川開発建設部	報告年月:2009/4/7
-----------------	-------------	---------------

	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
	行政連絡会議の実施												● 3/24	メール等にて情報共有は実施していたが、実際の会議は1回のみであった。

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称:大雪・富良野ルート			報告者:旭川開発建設部		報告年月:2009/3/31		
種類	方針	平成20年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
景観づくり	大雪山・十勝岳連峰を美しく見せ、親しむ	深山峠さくら園の駐車帯整備		旭川開発建設部	大雪山連邦を一望できる深山峠さくら園の駐車帯整備を実施。今後は、駐車帯の利活用を進めるために、広報や情報発信を行う。	今後もそれぞれが出来る取り組みを整理し、活動を推進するとともに、代表者会議への情報提供なども行い、連携を強化する。	★18
	波状丘陵地の田園景観を保全する	ゴミゼロキャンペーンへのゴミ袋や火ばさみ、ゴミ処理の支援、活動への参加	西神楽:4月27日(日)10:00～12:00 旭川空港周辺:4月26日(土)10:00～12:00上富良野町:5月11日(日)10:00～12:00	旭川開発建設部・旭川土木現業所・旭川市・東川町・上富良野町	ゴミゼロキャンペーンへの協力として、ゴミ袋の提供や火ばさみの貸し出し、ゴミの処理を実施。清掃活動も参加した。ゴミゼロキャンペーンへの総参加人数は、200人を超える取り組みとなった。さらに広域への展開を検討し、地域と連携し取り組みを推進する。	地域活動への支援を継続するとともに、各機関が実施できることを整理し、さらに活動を推進する。	1
		JRと国道敷地の除草活動への支援(ゴミ処理・JRとの調整 等)	平成20年6月20日・6月28日 9:00～15:00	旭川開発建設部	JRと国道敷地の除草活動への協力として、活動への参加やJRとの調整を実施した。除草活動として約2キロ区間の除草活動を実施することが出来た。 地域との連携を強化し、活動の継続を目指す。		2
	花人街道としての景観を整える	花の植栽活動への苗の提供などの支援	5月～6月	旭川開発建設部・東川町・上富良野町	沿道の花植栽への協力として、花の苗などの提供、活動への参加を行った。花植栽により、良好な沿道環境を保つことが出来、来訪者からも好評であった。今後は、地域との連携を強化し、継続した取り組みに向けての検討などを行う。	花の植栽活動への支援については、できる範囲で継続して実施するとともに、ルートに参加していない団体の取り組みの情報収集・情報発信を行い、連携推進に協力する。	4
地域づくり	活力ある地域づくり	ウィンターサーカスのランドアート制作協力	2月7日(土)、2日(日) 17:00～20:00	旭川開発建設部・上川支庁・旭川市・美瑛町・上富良野町	会場周辺の除雪やランドアート制作に使う排雪の提供などを実施。今年度は雪が少なかったが、大型のランドアートを制作することが出来た。除排雪時期との関係が課題となっている。	継続して実施できる活動体制づくりに協力するとともに、広報活動への協力も強化し、成功事例を積み上げる。	9
		ウィンターサーカスと連携した雪の授業への協力	西神楽:1月26日、上富良野:2月8日	旭川開発建設部・上川支庁・旭川市・上富良野町	ウィンターサーカスと連携した雪の授業を、旭川市聖和小学校、上富良野町教育委員会と連携して実施。聖和小学校では全生徒20名、上富良野町では約15名の児童が雪授業に参加した。活動への支援として、スタッフとしての参加や参加者の募集などを行った。		
	コリドーとしての連携や参加意識の醸成	ルートのフォトコンテストへの広報等の協力	8月～11月募集	旭川開発建設部・上川支庁・旭川市・富良野市・東川町・東神楽町・美瑛町・上富良野町・中富良野町・南富良野町・占冠村	ルートで実施してるフォトコンテストのチラシ配布など広報活動に協力した。今年度は、募集時期が遅れたが約150名ほどから応募いただいた。地域では活動の継続に向けての費用捻出が課題となっている。	より多くの方が参加できるように、広報活動への協力を強化する。	8
		フォトコンテストのパネル展開催協力	8月～11月募集	旭川開発建設部・東神楽町	フォトコンテストの入選作品展を旭川合同庁舎と東川町のコミュニティ施設で実施。多くの方に、フォトコンテストをPRすることが出来た。		
	農業・観光・商業の連携と協働による地域づくり	ウィンターサーカスへのプロジェクター貸し出しなどの支援	2月7日(土)、2日(日) 17:00～20:00	旭川開発建設部・上川支庁・旭川市・美瑛町・上富良野町	雪のランドアートの投影するプロジェクターなどの貸し出しを行った。プロジェクターの貸し出しやイベントへの参加など、できる範囲の支援を行うことで連携体制が強化された。	多面的な連携が実現できるように、農業・観光・商業に関係する情報発信を活動団体に行い、連携を推進する。	9
	地域の自然・文化・歴史を共通の資産として保全活動を推進					今年度は、具体的な取り組み展開が出来なかったが、今後は、地域と連携し、具体の取り組みを展開する。	

	ユニバーサルデザインの推進	バリアフリーマップ検討において、過年度の調査業務等の情報提供	旭川開発建設部	通年	ルートでバリアフリーマップを作成するにあたり、過年度における旭川開発建設部で実施した調査結果などの情報提供を行った。平成21年度のゴールデンウィーク頃に、マップ発行を行う予定となっている。マップの更新や継続発行に向けての検討を地域ともに行う。	マップ作成時には、配布に協力するとともに、バリアフリーやユニバーサルデザイン活動を実施している、様々な団体の連携に向けて情報発信・共有を行う。	★7
観光振興	田園型リラクゼーション観光の充実					今年度は、具体的な取り組み展開が出来なかったが、今後は、地域と連携し、具体の取り組みを展開する。	
	農業と連携した観光のしくみづくり					今年度は、具体的な取り組み展開が出来なかったが、今後は、地域と連携し、具体の取り組みを展開する。	
	シーニック・ランドオペレーション機能の充実	情報拠点にパンフレットを提供		旭川開発建設部・上川支庁・旭川市・富良野市・東川町・東神楽町・美瑛町・上富良野町・中富良野町・南富良野町・占冠村	情報拠点にて大雪・富良野ルートに関係する観光パンフレットを配布するために、情報拠点4箇所に関係市町村等のパンフレットを提供した。各情報拠点では、ルート内各地のパンフレットを扱うことで、広域の観光案内を実施することが出来た。	地域での取り組みについて、協力を継続するとともに、地域とともにシーニックに関する情報のルール化等を検討する。また、それぞれが独自で実施できる取り組みを整理する。	5
		道路情報板を活用したルートPR	通年	旭川開発建設部	道路情報板にシーニックバイウェイ及びルート名を表示。道路利用者の不特定多数にシーニックバイウェイ及びルートのPRを行うこと出来た。		19
		ルートHPへのリンクを実施	通年	旭川開発建設部・旭川土木現業所・旭川市・富良野市・東神楽町・上富良野町・中富良野町・南富良野町・占冠村	ルートのホームページへのリンクを、各機関のホームページに掲載。ルートのホームページPRIに協力した。		20

※表中“★”はH20新規活動

5. 平成19年度活動報告への助言に対する状況報告

ルート名称:大雪・富良野ルート	報告者:代表 山崎 博幸	報告年月:2009/3/31
-----------------	--------------	----------------

平成19年度活動報告への助言	平成20年度 状況報告	備考
・地域へのルート活動の更なる浸透や、人材育成の取組の充実を期待する。	ルート活動の推進として、ルート法人を中心に助成事業や補助金の申請を行い、積極的に活動資金の獲得を目指した。活動資金を獲得するために、中間法人を中心とした活動の推進体制の強化を図り、平成20年度は8件の事業申請及び申請協力を行い、内6件が採択となり様々な取り組み・事業が実施できた。具体的事业申請及び取り組みの中で、様々なノウハウをルートとして蓄積することが出来、活動資金獲得や法人運営に関する人材育成が一部で実施できた。今後は、ルート法人のノウハウ蓄積をもとに、個別団体への協力をルート法人として行い、さらなる人材育成を目指す。活動については、小さな成功を積み上げ、情報共有しルート活動のさらなる浸透を目指す。	

ルート名称:大雪・富良野ルート	報告者:旭川開発建設部	報告年月:2009/3/31
-----------------	-------------	----------------

平成19年度活動報告への助言	平成20年度 状況報告	備考
・地域へのルート活動の更なる浸透や、人材育成の取組の充実を期待する。	行政連絡会議としてルート活動推進の為に、助成事業・補助金に関する申請書作成時の指導やアドバイス地域団体及びルート法人に行い、活動資金獲得に協力するとともに地域団体の人材育成やノウハウ蓄積の協力を行った。今後も、地域団体等との連携を深め、お互いの得意分野を活かし、ルート活動の推進・人材育成を目指す。また、ルート活動を広く浸透させるために地域イベント広報では、チラシの配布等に協力した。さらに、多くの方にルート活動を浸透させるために、今後は広報活動の協力を強化する。	